

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海事システム工学特別研究Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0125			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 5		
開設学科	海事システム工学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	5		
教科書/教材							
担当教員	梅 伸司,中谷 俊彦,水谷 淳之介,河合 雅司,経田 僚昭,山田 圭祐,山本 桂一郎,保前 友高,向瀬 紀一郎,福留 研一						
到達目標							
海事システム工学特別研究Ⅰで取り組んできた特別研究の成果に基づき論文を作成し、校外外で発表を行い、論文・発表に関する客観的な評価・指導を経て、本科・専攻科の学修の総括として、特別研究論文を完成させる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	研究テーマに沿った考察対象に関する見解をまとめてあり、その内容が論理的に構築され、問題解決のための仮説が適切に立てることができる。			研究テーマに沿った考察対象に関する見解をまとめてあり、その内容が論理的に構築され、問題解決のための仮説を立てることができる。		問題解決のための仮説を立てることができない	
評価項目2	的確に表現され、意図を聴衆に伝えるに十分なプレゼン資料を作ることができる。			意図を聴衆に伝えるためのプレゼン資料を作ることができる。		意図を聴衆に伝えるためのプレゼン資料を作ることができない	
評価項目3	的確に表現され、意図を聴衆に伝えるに十分な研究予稿を作ることができる。			意図を聴衆に伝えるための研究予稿を作ることができる。		意図を聴衆に伝えるための研究予稿を作ることができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海事システム工学に関する総合的な創造的研究開発能力を育成するため、指導教員のもとで、文献調査、理論解析、実験、ディスカッションなどの能動的実践を行う。成果は校内の発表会等で審議される。このような体験を通じ、技術者として要求される計画性と発表能力を養う。						
授業の進め方・方法	1. 自主的・継続的に学習できる。 2. 計画的に研究を進め、まとめることができる。						
注意点	中間報告会での成果を2名（主査・副査）の教員で評価する。60点以上で認定。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	特別研究				
		2週	特別研究				
		3週	特別研究				
		4週	特別研究				
		5週	特別研究				
		6週	特別研究				
		7週	特別研究				
		8週	特別研究				
	2ndQ	9週	特別研究				
		10週	特別研究				
		11週	特別研究				
		12週	特別研究				
		13週	特別研究				
		14週	特別研究				
		15週	特別研究				
		16週	特別研究				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0